

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月16日
中国運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業（計画策定事業）

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針	評価結果	
松江市公共交通利用促進市民会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3次計画の検証及び評価 ・市民アンケート調査 ・利用者ヒアリング調査 ・市民ワークショップ ・交通事業者ヒアリング ・OD補足調査（市内事業所アンケート） <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記調査及びヒアリングにより、基礎データの整理、地域の公共交通の現状について整理し、協議会に諮るための計画骨子（案）を作成した。 ・今後の協議会の検討を経て、「松江市地域公共交通計画」として最終的にとりまとめる。 	A	計画通り事業は適切に実施された。	<p>基本戦略として、「関係主体の連携・共創による持続可能な公共交通ネットワークの構築」、「デジタル技術を活用した公共交通の利便性・生産性の向上」、「人や環境に優しく、まちづくりに資する公共交通の実現」、「公共交通を支える仕組みの再構築と利用促進」を掲げ、だれもが利用しやすい交通ネットワークの整備を目指す。</p> <p>なお、令和7年度確保維持事業（地域内幹線系統）の活用を見込んでいる。</p>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートの結果のみに頼ることなく、クロス集計をすることで、市民の交通に対するより細分化された意識傾向を把握している点については評価できる。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7事業年度より地域公共交通計画と従来の国庫補助事業に係る計画が連動化されるため、必要とされている指標の管理等が適切になされることを期待します。
呉市地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、地域の現状整理 ・交通事業者の課題等の把握 ・地域意見交換会の実施及び結果とりまとめ ・協議会、分科会の開催 ・呉市地域公共交通計画（骨子・素案）とりまとめ <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎データとして地区別・年齢層別の人口、公共施設、医療・福祉・商業施設等の立地状況の整理を行った。 ・アンケートの集計、バスODデータの分析により、データに基づき課題抽出を行った。 ・地域に適した交通体系を明らかにするため、市内18地区において地域意見交換会を実施し、課題抽出を行った。 ・市内18地区毎の現況及び課題をとりまとめた「地区カルテ」の作成を行った。 ・法定協議会及びその下部組織であり、国、県、交通事業者、学識経験者等が参画する分科会において、計画策定の方向性等の具体的な議論を行った。 <p>【今年度の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回地域意見交換会を市内数か所で開催し、計画全体及び各地区の方向性を議論する。 ・交通事業者に対するヒアリングを実施し、担い手不足等の現状把握を行う。 ・交通が担うミッション（基本理念）、基本方針、実施方針について、事業者、国、県で組織する法定協議会の分科会で議論し、令和5年度中に骨子・素案を作成する。 ・分科会2回、協議会1回を開催し、骨子・素案の作成に向けて協議する。 	A	計画どおり事業は適切に実施された。	<p>呉市地域公共交通計画の視点 次に掲げる視点を踏まえ、基本理念及び基本方針といった骨子を作成することとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内を均一に捉えるのではなく、地域の実情に適した交通体系の実現 ・地区内の移動、地区外への移動に関するサービスレベルの設定 ・地域の産業との連携 ・既存の地域交通の質の向上 ・計画の事業推進及び進捗管理、事業者の品質管理に関するマネジメント体制の再構築 	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呉市内を18地区に分け、各地区の交通の状況をはじめとした基礎情報を基に、各地区の課題、取組の方向性、取組のイメージを記載した「地区カルテ」を作成し、意見交換会を開催した点については評価できる。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7事業年度より地域公共交通計画と従来の国庫補助事業に係る計画が連動化されるため、必要とされている指標の管理等が適切になされることを期待します。

評価対象事業名：地域公共交通調査事業（計画策定事業）

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針	評価結果	
竹原市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通の現況整理 ・市民及び公共交通利用者、交通事業者に対する調査 ・地域に適した交通施策の検討 <p>【実施予定概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理する。 ・市民等へのアンケートにより、地域に必要な公共交通の形を把握する。 ・地域に適した交通モードなどについて検討し、協議会に諮るための計画素案を作成する。 	A	計画通り事業を実施する予定。	<p>居住地やまちなかの主要施設が比較的コンパクトにまとまっている本市の特性と、既に魅力ある観光地を有するという長所を、将来のまちづくりに活かしていくには、これまで以上に公共交通ネットワークの役割が重要となるが、多くの課題を抱えているため、立地適正化計画との整合や広域的な観点を持ち市民・交通事業者・関係者が一体となって議論しながら、事業を推進していくことが重要となる。そのためには、本市の将来の公共交通のあるべき姿を示すとともに、各主体の役割を示す地域公共交通形計画を策定する。</p>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通を地域住民の足として捉えるだけでなく、地域特性を踏まえて観光客に対する交通サービスのあり方についても課題を整理しようとしている点については評価できる。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7事業年度より地域公共交通計画と従来の国庫補助事業に係る計画が連動化されるため、必要とされている指標の管理等が適切になされることを期待します。
府中市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域概況の整理 ・公共交通の現状整理 ・目指すまちづくりの方向性の整理 ・移動実態や公共交通に対するニーズの把握 ・前計画の評価検証 ・公共交通網の問題点・課題の整理 ・基本方針・目標の検討 ・計画に位置付ける事業の検討 ・地域公共交通計画（素案）のとりまとめ ・協議会の開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。 ・市民、利用者、高校生、事業所アンケートにより、単に移動の実態だけでなく、移動の目的等の把握や仮説設定による検証を実施することができた。 ・前計画の評価、現状分析、実態調査、ヒアリング等により、今後検討が必要となる課題を整理し、協議会に諮るための計画素案を作成。 ・今後の協議会、分科会での検討を経て、地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。 	A	計画通り事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が抱える地域公共交通の問題点に対し、地域特性や利用者ニーズに応じた公共交通の確保を図り、市内外全体の交通手段を連携させ、効率的で利便性の高い公共交通網を形成する。 ・まちづくりの方針と整合を図りながら、各公共交通機関同士や関連施設の接続強化により、移動しやすく、乗継しやすい公共交通網を構築する。 ・公共交通利用に対する意識の醸成や分かりにくさによる不安の解消により利用促進を図るとともに、目的地となる施設との連携により持続性を確保し、安心して公共交通を利用できる環境を整備する。 ・なお、令和6年度確保維持事業（地域内フィーダー系統）の活用を見込んでいる。 	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮説的に施策を立て、住民アンケートを実施し、その結果から施策を行うことで利用状況がどのように改善するか予測した点については評価できる。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7事業年度より地域公共交通計画と従来の国庫補助事業に係る計画が連動化されるため、必要とされている指標の管理等が適切になされることを期待します。
山口市公共交通委員会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民向け公共交通アンケート調査 ・策定会議開催 	A	計画通り事業は適切に実施されている。	<p>地域公共交通の活性化や再生を図るため、地域の公共交通における補助系統の位置づけや補助事業の必要性について設定するとともに、上位計画や関連計画との整合を図りつつ、新たな地域の公共交通計画を策定する。</p> <p>計画策定に伴い、既存の公共交通の利用状況等を調査するための市民向けアンケートを実施した。</p> <p>その結果、依然として、マイカーに過度に依存した生活スタイルであることが確認されたことから、引き続きマイカーに頼り過ぎない交通まちづくりに向けて、DX技術などのデジタル技術の活用や既存事業の充実などを位置づけ、様々な施策を展開する予定。</p>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や関係事業者、自治体ヒアリングなど幅広く意見を集め、地域公共交通需要を把握し、ダイヤを含めた交通形態の再編について検討した点については評価できる。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7事業年度より地域公共交通計画と従来の国庫補助事業に係る計画が連動化されるため、必要とされている指標の管理等が適切になされることを期待します。

評価対象事業名：地域公共交通調査事業（計画策定事業）

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針	評価結果	
上関町地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における交通の現状・問題点、課題整理 ・住民のアンケート調査、移動需要調査 ・公共交通の利用状況、町財政負担推移分析 ・地域に適した交通の検討 ・計画に位置付ける事業の検討 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。 ・地域へのアンケートにより、住民の場所別の移動需要を把握することができた。 ・地域に適した交通形態について検討し、課題解決のための事業を提案した。 ・交通会議に諮るための計画素案を作成予定。 ・今後の協議会の検討を経て、上関町地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。 	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況調査、アンケート調査、ヒアリング調査等から公共交通の課題を抽出し、熊毛郡の3町で連携しながら将来の交通体系を策定しようとしている点については評価できる。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7事業年度より地域公共交通計画と従来の国庫補助事業に係る計画が連動化されるため、必要とされている指標の管理等が適切になされることを期待します。 	
田布施町地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における交通の現況と課題整理 ・アンケート、ヒアリング調査及び地区意見交換会実施 ・地域に適した交通の検討 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況や課題を整理した。 ・町民、高校生、買い物送迎サービス利用者へのアンケート調査や交通事業者や関係機関等のヒアリングにより、町民の移動実態や高校生の通学実態を把握することができた。 	A	計画通り事業は適切に実施された。	<p>本町の公共交通を取り巻く課題点を以下8つの分類に整理 →①地域内交通が不十分 ②移動ニーズへの対応が不十分 ③公共交通の収支率の悪化 ④買い物送迎サービスの見直しの必要性 ⑤各交通事業者間の連携が不十分 ⑥公共交通の担い手確保の困難さと事業存続の危機的状況 ⑦交通結節点の待合環境の不備と不便さ ⑧生活拠点施設と公共交通の連携が不足</p> <p>課題点を踏まえ、本町が取り組むべき課題として8つ →①公共交通の位置づけ明確化 ②幹線交通の利便性向上 ③買い物送迎サービスの改善 ④航路の維持・活性化 ⑤公共交通の利用促進 ⑥持続可能な公共交通事業の推進 ⑦JR田布施駅の環境改善 ⑧各種主体との連携と共創による交通まちづくり</p> <p>これまでの公共交通に対する課題や問題点より、本町の地域公共交通を維持・確保していくための指針となる基本理念を次のように設定</p> <p>【基本理念】 田布施町の暮らしと利便を支える持続可能な公共交通</p> <p>【基本方針】 ①まちの実情にあった公共交通サービス ②みんなで支える持続可能な公共交通 ③様々な主体との連携と共創による交通まちづくり</p> <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況調査、アンケート調査、ヒアリング調査等から公共交通の課題を抽出し、熊毛郡の3町で連携しながら将来の交通体系を策定しようとしている点については評価できる。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7事業年度より地域公共交通計画と従来の国庫補助事業に係る計画が連動化されるため、必要とされている指標の管理等が適切になされることを期待します。 	

評価対象事業名：地域公共交通調査事業（計画策定事業）

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針	評価結果	
平生町地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の公共交通に関する現況調査 ・移動実態や地域住民のニーズの把握 ・平生町地域公共交通計画（案）のとりまとめ <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。 ・住民アンケートにより、時間帯別、場所別の移動需要を把握することができた。 ・持続可能な公共交通網の形成に向けた目標、事業の実施主体、スケジュール等を検討し、協議会に諮るための計画素案を作成。 ・今後の協議会の検討を経て、生活交通確保維持改善計画として最終的にとりまとめる。 	A	計画通り事業は適切に実施された。	<p>町内全域における公共交通網の将来的な需要予測を踏まえて、現状維持を最重要目標とし、新たな交通モードを実現可能な範囲で採用することを検討項目として加えた計画となるよう検討した結果を取りまとめる。</p>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況調査、アンケート調査、ヒアリング調査等から公共交通の課題を抽出し、熊毛郡の3町で連携しながら将来の交通体系を策定しようとしている点については評価できる。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7事業年度より地域公共交通計画と従来の国庫補助事業に係る計画が連動化されるため、必要とされている指標の管理等が適切になされることを期待します。
広島県地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ビジョン策定業務 <ul style="list-style-type: none"> ・県交通政策の制度設計支援 ・制度面でのチェック ○協議会等の運営支援 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会、エリア分科会、WGの運営業務 ・資料作成 ○市町地域公共交通会議への参加 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通やボランティア輸送など地域が主体となった生活交通への取組に対する支援とその投資効果及びKPIを検討した。検討に当たっては、県が有する「広島県モビリティデータ連携基盤」等のデータを活用しながら分析を行った。 ・「地域交通法」に基づく法定計画としての要件を満たすよう、補助制度との連動化など制度面でのチェックを行った。 ・協議会、エリア分科会、WGを開催するに当たり、関係者の日程調整、会場借上・準備、議事録作成、謝金・旅費の支払等を行った。 ・協議会、エリア分科会、WGそれぞれに提出する資料作成を行った。 ・市町地域公共交通会議に参加し、市町が抱える課題を把握するとともに、県の交通政策に反映した。 	A	計画通り事業は適切に実施された。	<p>現状や課題、将来の不確実性の対応を踏まえ、ビジョンの基本方針を次のとおり定めた。今後この基本方針を基に施策を展開するとともに、設定指標に基づくマネジメントを行っていく。</p> <p>①：拠点間を結ぶ交通ネットワークの充実 減少する移動需要を束ねるとともに、県内外の交流を生み出す仕組みづくり</p> <p>②：暮らしを支える生活交通の確保 地域で支え合い、誰もが移動をあきらめることのない地域づくり</p> <p>③：交通事業者等の経営力強化 リソース（ヒト・モノ・データ）の有効活用による、交通サービスの供給面強化</p> <p>④：地域公共交通を通じた社会課題の解決 交通GX(グリーン・トランスフォーメーション)をはじめ、地球にも人にも優しい取組の推進</p> <p>事業者が行う交通GXをはじめとした、環境に優しい設備投資への支援や災害時における連携体制の構築などといった地球にも人にも優しい取組を推進する。</p>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の各地域をその特徴ごとに分析し6つのエリアに類型化し、行政区画にとらわれない議論を行い、その地域類型に応じた施策内容を検討している点については評価できる。 <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7事業年度より地域公共交通計画と従来の国庫補助事業に係る計画が連動化されるため、必要とされている指標の管理等が適切になされることを期待します。